

1

羽田空港のいま



質問 航空と私たちの暮らしは、どのように関わっているのでしょうか。

- 昨今のグローバル化した世界において、航空は私たちの暮らしには欠かせない存在となっています。

航空は、国内外でのビジネス活動、観光客の往来、大切な友人との交流、家族とのつながりなどを陰ながら支えています。その中で、新たな人の出会いや体験を生み出しています。



日常生活においても、食卓に並ぶ野菜や魚介、またスマートフォンなどの精密機器など、航空により運ばれているものが生活にたくさん溶け込んでいます。



① 航空とビジネス

海の向こうのビジネスパートナーに、直接、気軽に会えるようになり、新たな国内投資や海外展開のチャンスがどんどん広がっています。



② 航空と観光

写真でしか見れなかったような遠い場所にも、今では気軽に行けるようになりました。また、海外からも多くの外国人が日本を訪れています。このような異文化の体験や相互理解の深化を通じ、新たな文化や地域経済の循環が生まれつつあります。



③ 航空と精密機械

スマートフォンや医療機器といったハイテク商品・部品の多くが飛行機で運ばれており、私たちの便利な生活や国内での生産活動、雇用を支えています。



④ 航空と食品

首都圏のスーパーや食卓には、アスパラガス、トマト、オクラ、インゲン、バナナ、イチゴ、マグロなど、国内外から航空輸送により運ばれている新鮮食品がたくさん並んでいます。また、日本の希少価値の高い果物や農産品を海外に輸出し、新たな販路を切り拓く動きも活発になっています。

質問 羽田空港の役割について教えてください。

- 日本の経済・社会を支えてきた羽田空港。地方と首都圏、そして世界をつなぐ大切な役割を果たしています。
- 人口減少時代を迎えた日本で、これからも日本の成長を支える空港であるためには、羽田空港をさらに世界に開くことが必要と考えています。

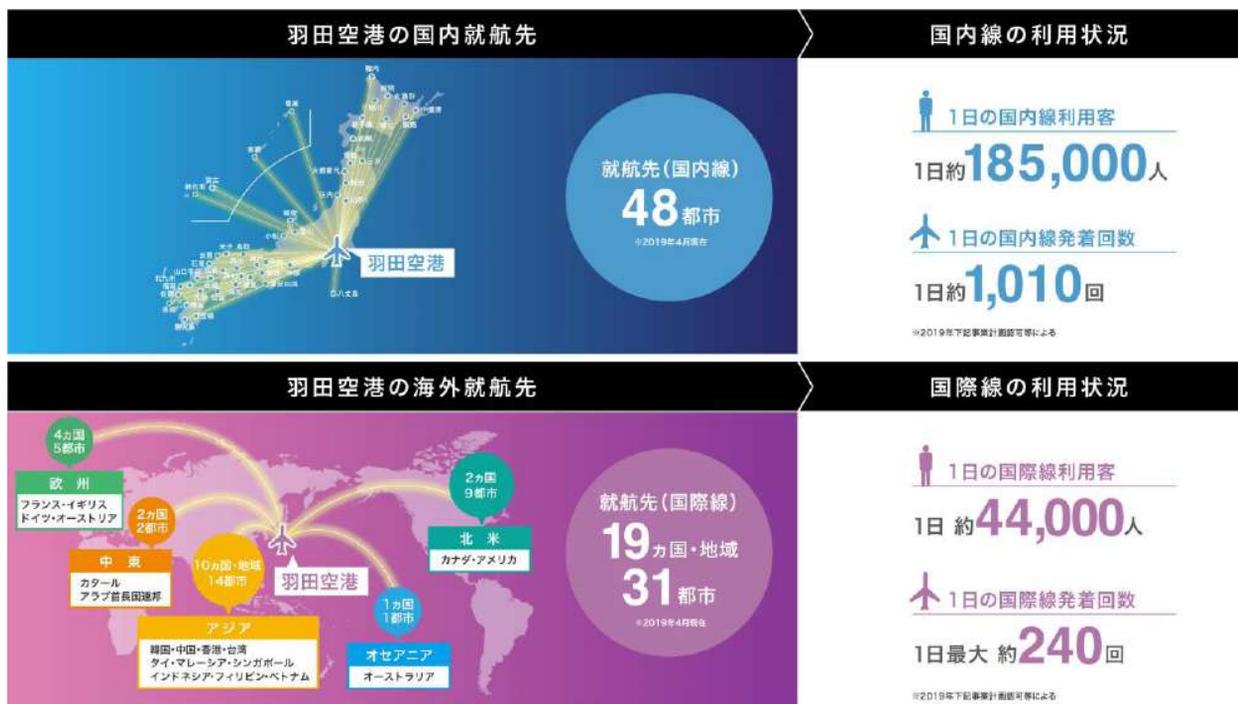
地方と首都圏、そして世界をつなぐ大切な役割を果たしています。



羽田空港は4本の滑走路と3カ所の旅客ターミナル（国内2、国際1）があります。

また、都心からの距離は、わずか15kmとアクセスも便利です。

国内外に豊富な路線を有する羽田空港。首都圏と世界をつなぐだけでなく、羽田空港を通じて地方と世界もつないでいます。



羽田空港は日本の成長、地域の発展を支えてきました。

旅客ターミナルや滑走路の整備により、日本の経済・社会を支えてきた羽田空港。
日本の成長、地域の発展に併せて、羽田空港も進化してきました。



1964年 (旧C滑走路完成)



1971年 (旧B滑走路延伸)



1988年 (現A滑走路完成)



1997年 (現C滑走路完成)



2000年 (現B滑走路完成)



2010年 (D滑走路完成)

2010年（平成22年）に4本目の滑走路の整備により増便が可能となり、国際定期便が再び就航した羽田空港。
日本の成長、地域の発展に、より大事な役割を果たすようになりました。

「都心から近く」、「24時間オープンしている」という強みを生かし、ビジネスや観光をよりしやすい環境にしています。

小松（石川）からシドニーへ



フランクフルトから長崎へ



さらに、外国企業の拠点や海外ビジネスを呼び込んでいきます。



外資系企業のアジア・オセアニア地域統括拠点数

シンガポール	中国	香港	日本	オーストラリア	韓国	台湾	インド	その他
324	247	173	104	57	42	41	28	222

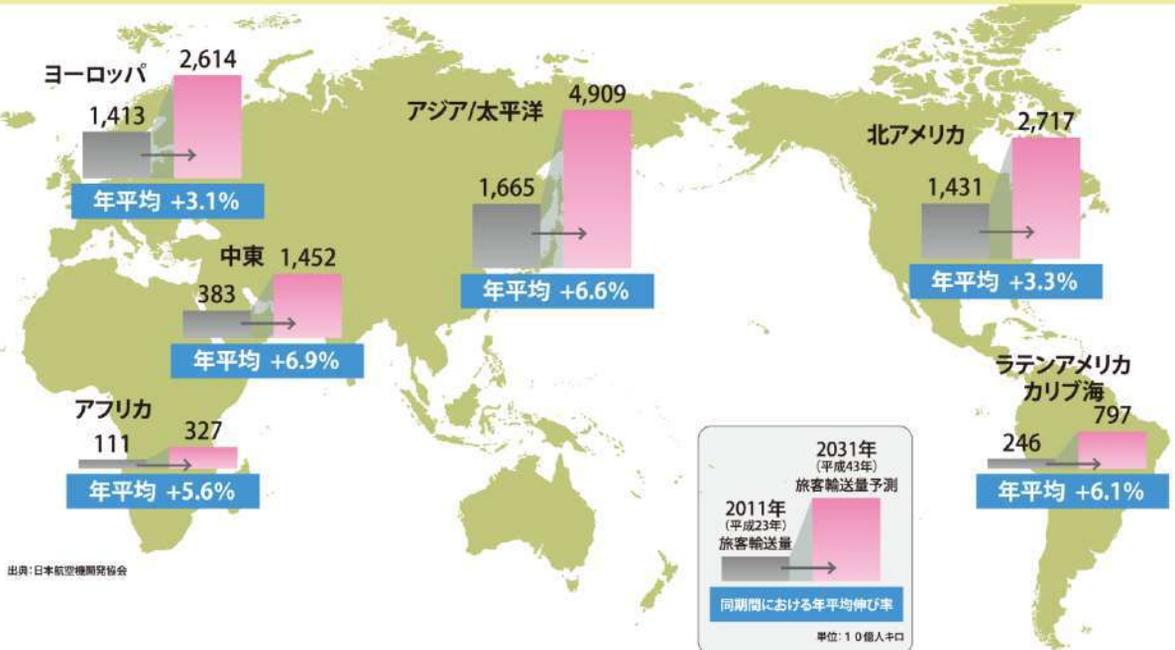
※調査対象は、日本に進出しており、かつ、外国投資家が株式または持分の3分の1超を所有している等の条件を満たす企業。
(出典)第52回外資系企業の動向(第52回 平成30年外資系企業動向調査(平成29年度実績))をもとに国土交通省作成

質問 羽田空港の現状について教えてください。

- 羽田空港は、深夜・早朝の時間帯を除き、現在、フル稼働の状況です。
- 人口減少時代を迎えた日本で、これからも日本の成長を支える空港であるためには、羽田空港をさらに世界に開くことが必要と考えています。

世界的に見てもアジアの航空需要が大幅に増加するなかで、将来想定される国際線の需要増に対応するためにも、成田空港とともに羽田空港のさらなる国際化のための方策を早急に考える必要があります。

航空輸送量の大幅な増加（国際・国内計）



羽田空港は、深夜・早朝の時間帯を除いて現在フル稼働しており、国際線の需要が集中する時間帯において、これ以上国際線を増やすことができません。



多くの航空機で混雑する羽田空港

日本の経済・社会にとって必要不可欠な羽田空港。
これからも日本の成長を支えるため、さらに世界に開くことが必要です。

人口減少社会を迎えた日本で、私たちがこれからも豊かな生活を実現していくためには、羽田空港の国際線の増便が欠かせません。

首都圏の国際競争力を強化

世界の都市競争力 (森記念財団)

総合ランキング					
1位	2位	3位	4位	5位	
ロンドン	ニューヨーク	東京	パリ	シンガポール	

ロンドンと東京の比較							
	経済	研究開発	文化交流	居住	環境	交通アクセス	総合
ロンドン	2位	3位	1位	11位	19位	2位	1位
東京	3位	2位	4位	9位	29位	5位	3位

交通アクセスが、前回6位から5位に浮上
(「国内・国際線旅客数」の増加が主な原因)

出典：森記念財団 都市戦略研究所「世界の都市総合ランキング2018」

都心からのアクセスも便利な羽田空港。アジアの都市との競争を勝ち抜き、世界中からヒト・モノ・カネを東京に呼び込みます。

地方を元気に



羽田空港の豊富な国内線と国際線を結ぶことで、日本各地と世界の交流を活発化させ、世界の成長の果実を地方にもお届けします。

より多くの外国人観光客をお迎え

訪日外国人旅行客数の推移



増加する外国人旅行者をさらに呼び込み、買い物や宿泊をしてもらうことで日本全国の経済を活性化させます。

東京オリンピック・パラリンピックを円滑に開催



2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピック大会で、世界各国から来日する、大会関係者、選手、観客などをお迎えし、大会を成功させることが必要です。

これからも、日本の成長を支える空港です